

病害虫発生予察特殊報 第 1 号

ニホンナシハモグリダニ（仮称）の発生について

佐賀県

1. 病害虫名：ニホンナシハモグリダニ（仮称）

Eriophyes sp.1

2. 発生作物：ニホンナシ

3. 発生の経過と概要

令和 6 年 5 月に県内のナシ栽培園において、葉の両面がこぶ状に膨らむ「火ぶくれ症状」が発生している樹が発見され、症状を呈している部位の内部にフシダニ科のダニの寄生が認められた（写真 1、2）。

法政大学植物医科学センターに同定を依頼した結果、ニホンナシハモグリダニ（仮称）であることが判明した。

4. 国内の発生状況

平成 24 年に神奈川県から特殊報が発表された後、長野県、栃木県、秋田県、熊本県から特殊報が発表されている。

5. 形態

成虫の体長は約 0.2mm で、黄褐色のうじ虫型、卵は球形半透明である。

6. 生態及び被害

1) 生態については不明な点が多い。神奈川県の特報によると、本種は芽の中で越冬し発芽とともに芽から脱出、葉に火ぶくれ症状を引き起こし、虫体はこの火ぶくれ症状の中に生息するが、暖かい時期には葉裏の開口部から外に出て新たな被害を及ぼすものと推察されている。

2) 葉では、やや膨らむ火ぶくれ症状を呈し、症状部位は被害が進むと黄色～暗褐色を呈する。

3) 長野県の特報によると、果実では幼果に葉と同様の火ぶくれ症状が形成されるが、成熟果実の被害症状は確認されていない。

7. 防除対策

1) 火ぶくれ症状のある葉は摘み取って埋却するなどして処分する。

2) 発生拡大を防ぐため、発生園地での穂木の採取は行わない。

【引用文献】

1. 神奈川県農業技術センター. 2012. 平成24年度病害虫発生予察特殊報第2号.
2. 長野県病害虫防除所. 2015. 平成27年度病害虫発生予察特殊報第1号.



写真1 葉の火ぶくれ症状（左：葉表、右：葉裏）



写真2 ナシ葉の火ぶくれ症状部位
内部のフシダニ

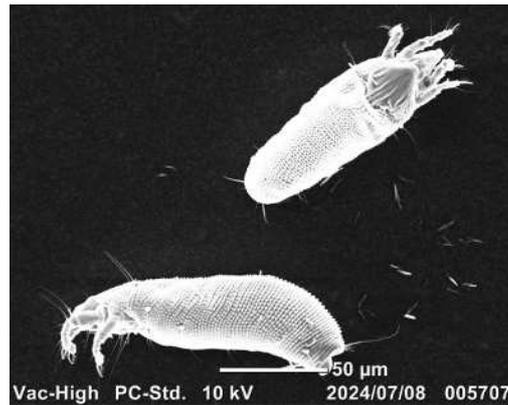


写真3 被害葉から採集したフシダニ
(電子顕微鏡写真)

注) 写真2 および写真3 は法政大学植物医科学センター原図

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45 - 8153 FAX (0952)45 - 5085

Mail nougyougi_jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

病害虫総合防除計画掲載アドレス

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003101844/index.html>

防除セ QR コード*



防除計画 QR コード*

